

# 研究レポート

2013/7/23 長谷

## 1. 実験経過

SHG 顕微鏡とパルス幅計測用の干渉計を構築途中である。

干渉計の時間遅延はピコモーターにより行い、プレートボード上に組む。顕微鏡として用いる場合は片側のビームのみを用いる。顕微鏡部は倒立配置とし、干渉計以降でビームを打ち上げ、定盤に対して垂直に設置したプレートボード上に組み立てる。

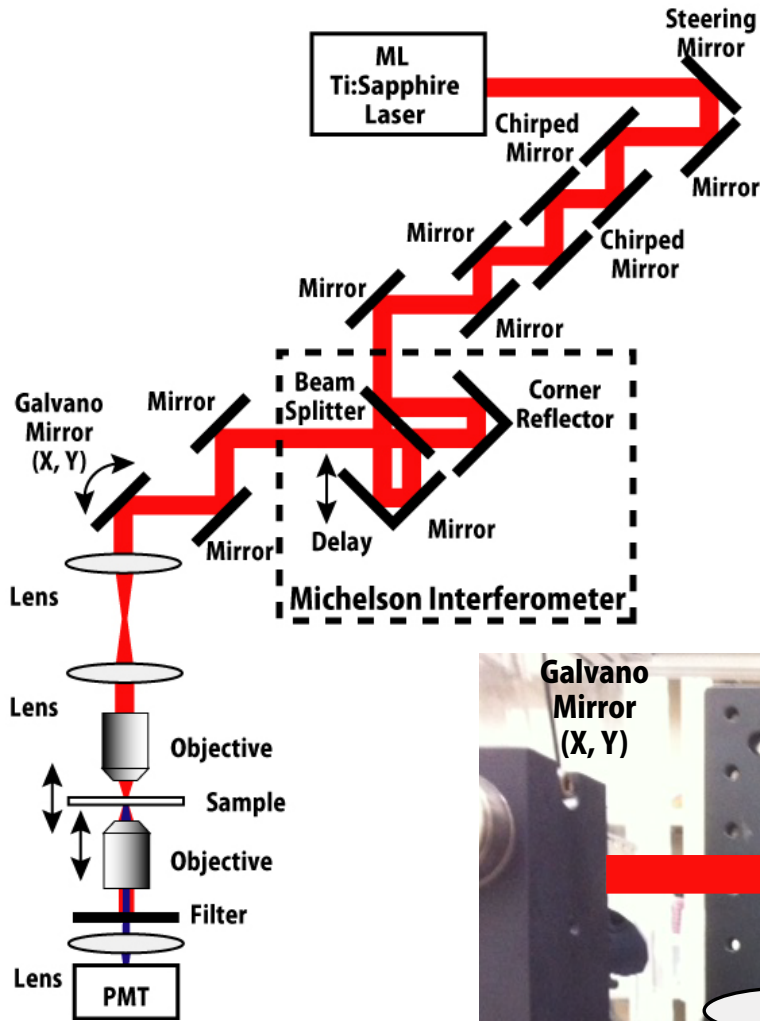


図1 セットアップ

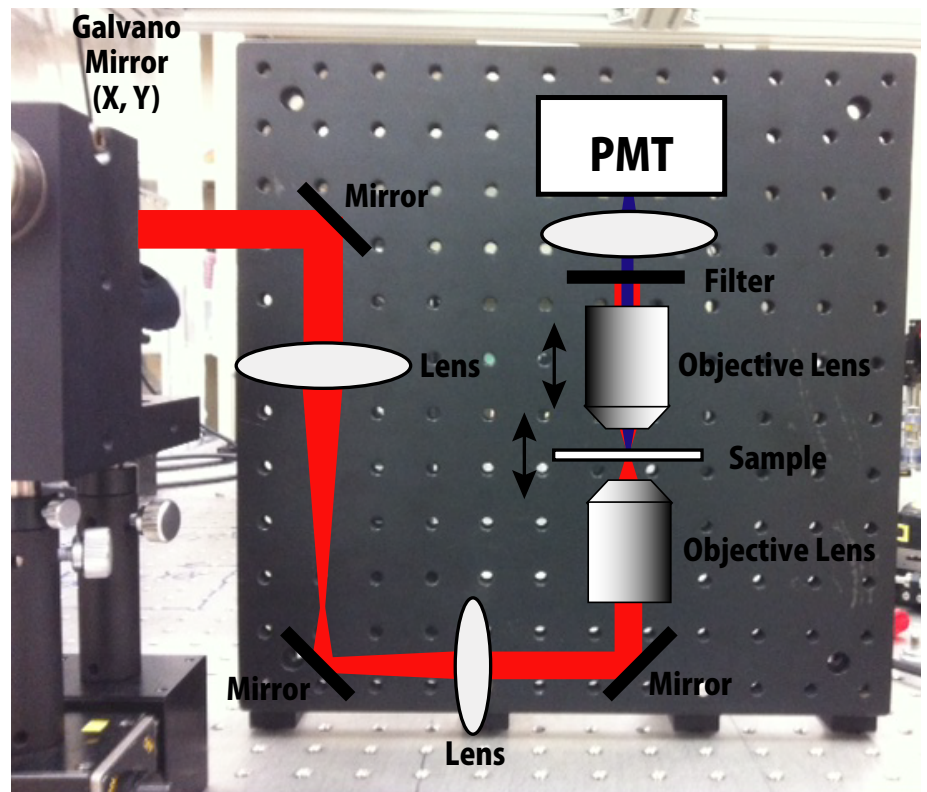


図2 顕微鏡部

## 2. 今後の予定

まず、ドライ対物レンズを用いて SHG 顕微鏡のみの構築を行う。その後ピコモーターが届き次第干渉計を組み込む。

以上